

平成30年第17回（定例）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成30年10月18日午後6時57分

場所

高砂市役所西庁舎2階会議室

出席者

衣笠教育長、山名委員、吉田委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

永安教育部長、阿部教育推進室長、瀧野学校教育室長、都筑教育推進室教育総務課長
北野学校教育室学務課長、赤松学校教育室学校教育課長

本日の会議に付した事件

協議事項

- 1 通学（園）区域一覧表について

報告事項

- 1 高砂市議会平成30年9月定例会の報告について
- 2 高砂市立小中学校空調設備導入事業について
- 3 高砂市学校給食センター調理等業務委託業者の決定について
- 4 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について

その他

- 1 11月行事予定について

議 事 協議事項1 通学（園）区域一覧表について

- 事務局 （協議事項1について説明）
- 教育長 説明が終わりました。何かご質問はございますか。
- 委員A すいません、園区がないと書いていて、中島地区、伊保地区、高砂こども園は高砂町西畑1丁目から4丁目までで、こういうのは、通学園区と書いているけれども、ここの右の欄には「幼保連携型こども園であるため園区の定めはありません」ということと一致しない感じがするんですけども。
- 事務局 入園に関しては特に規制はかかっていないのですが、住所地に一番近い、もともとの幼稚園の区域でできているこども園はここですという意味合いでの一覧表にはさせていただいています。
- 委員A ということは、できるだけ近くのところに行ってくださいねということ。行ってくださいねというわけじゃないけど、そうですね。
- 事務局 そういう意味でもないんですけども。
- 委員A 住所を書けば、いかにもここが園区ですという形がありながら、言っていることと文章に書いたら違うじゃないとなって、誤解を招きませんか？ 書き方が難しいところだと思うんですけど。
- 教育長 そうですね。表現の仕方がちょっと。その下の備考のところを見なければ、勘違いする方もおられるという、そういうご意見ですね。
- 委員A 実際には、どこで行ってもいいという話ですからね。それじゃ、ここに、それぞれの地区に、極端な言い方をすれば、高砂市全市。書けば書くだけ、また難しいと思いますけどね。原則ということでもないし、この表現の仕方としては非常に難しいかなというのが。やっぱりここに決まっているんだということになって。でも言っていること、実際は、建前と本音と違うかなという感じがしないでもない。その表現はどうされるか。混乱はないんですかね、今までのところ。
- 教育長 今までこれでやって混乱したということはないですかね。何かありますかね。
- 事務局 今現在は、入園に関しては、教育委員会のほうでは特にお聞きはしていないんですけども、こども未来部のほうからも混乱があったというお話はお聞きはしていないんです。ただ、先ほど委員Aがおっしゃったように、来年はまた、伊保こども園だけなんですけど、最終的には、荒井幼稚園だけが幼稚園ということになりますので、何かもっとわかりやすい表現があればとは、今思ったんですけども、ちょっと大幅にこれを変えとなると、市民の方が、ひょっとしたら混乱をされるのかなという心配もあるんですけども。

- 委員A いいですか。建前としては、こども園に関しては、市内どこのこども園に行かれても可能ですけれども、実際には近くのところで行かれるということがあるということで、一応原則はどこを選択されても結構ですという形を書かないと、ほんとうはいけないんでしょうね。この辺のところは難しいですね。
- 教育長 私も今、どういうふうに表現すればいいかなと考えながら見ているんですけども、ちょっと。
- 委員B いいですか。項目の分け方が、まず、幼稚園になっていますよね、上で。幼稚園と書いてあったら、幼稚園だけの意味になりますね。そしたら、荒井と曾根と米田しか書けないんじゃないのですか。ほかの地域は、全こども園通園可という形になるのではないですかね。
- 委員A こども園はこども園で、境界なしのところを、こども園で圏を書いて、幼稚園はこの校区別に書いてということかもわかりませんね。
- 委員B この欄に書けるのは3園だけなんじゃないかと思います。
- 委員C 枠を分けたらいいんですかね、これ。
- 教育長 二重丸のこども園に関しては表記しないというのも1つの手かもわかりませんね。その辺、ちょっとまた検討させていただくということで。市民の方が誤解することのないような表現、どのような表現がどうあるべきかということは、こども未来部と一緒に検討させていただきますかね。
- 事務局 はい。
- 教育長 あと、何かご意見とかご質問はございますか。よろしいでしょうか。では、検討するというので、あとは事務局でやっていくということで、お願いします。
- 報告事項の1、高砂市議会平成30年9月定例会の報告について、説明をお願いします。

議 事 報告事項1 高砂市議会平成30年9月定例会の報告について

- 事務局 (報告事項1について説明)
- 教育長 概要説明をしていただきましたけれども、何かご質問はありますか。
- 委員D 「置き勉」についてというところなんですけれども、「置き勉」を今度、全小中学校において認めるか、その方向であるということではよかったなと思っています。ただ、本市の場合は家庭学習が足りないという結果がでていますので、家庭学習をより効果的にするための、何らかの工夫を各学校で考えていかないといけないんじゃないかと思います。その辺の工夫、調査も聞いていただけたら、それなら、市としていい工夫とか案が出てくるような気がしますので、できれば今後お願いしたいと思います。

○委員A 「置き勉」のことにしましては、先生の授業の仕方の問題で、 unnecessary 副読本や辞書などを全部持ってきなさいという発想は駄目だと思います。だから、家庭学習というよりも、授業、教科書の使い方をちょっと検討してもいいんじゃないかと思います。

極端な例でいったら、「必要な予習・復習のことを家でしなさい。そしたら、学校の中ではプリントだけでやりましょう」みたいに、先生のやり方次第で教科書を学校まで持っていかなくていいんじゃないかと。勉強で、できることは家でやりなさいと。学校に頑張って教科書等を持ってきても、結局授業がなかったとか、自習になったとか、時間短縮で飛ばされたとか、無駄に持ってこさせているだけじゃないかということがあると思うんです。

だから、授業の家庭学習をさせることも大事ですけども、持っていく、持って帰らせる、そういうことであれば、やっぱり副読本とか参考書とかは家で調べる。それで、先生はやっぱり授業の短い時間の中で、いかに効果的にするか。そこは先生の一回一回の授業に対する、ひょっとしたら何らかの授業のあり方を改革してもらったほうが。例えば、教科書がなくても、スライドみたいな形、あるいは iPad、テレビなどできちんとしたら教科書は要らないんじゃないかと。持っていくことはない。そしたら、すごく負担は減るだろうと。そういういろんなことを、学校に教科書を持っていかなきゃならないかということをも1回考えてみていいんじゃないですか。

○委員D その辺も含めて考えていくべきだと思うのです。ただ、私も授業をしていて、むだなという言葉がありますけど、むだも含めてというところがやっぱりあるんですよね。僕は国語でしたけれども、国語では、途中から辞書を持っていきましよう。辞書は重いので「置き勉」にさせていただいたのですけれども、辞書は、普通国語で使うのですけれども、社会や理科でも使ってください。机の中に入れていいから、とにかく辞書、活字に触れましようということで、国語がメインで辞書を使うことはするのだけれども、それ以外の教科でも使ってくださいということで机の上なり机の中に置くと。これは全然、1日も2日も使わないことがしょっちゅうあるのですけれども、荷物と言えば荷物、無駄と言えば無駄でもあります。

そんなこともあって、無駄もやっぱり必要かなという思いがある部分と、あとは、プリントは確かに軽くて便利なんですけれども、それをまたプリントをつくらるとなると、教科書と似たようなプリントをつくらると、これまた今のそれこそ働き方のどうのこうのに逆行する部分もある気がします。 unnecessary なものは最初から「置き勉」するのではなくて、持っていくことはもちろん大事ですし、副読本も確かに増えています。ただ、それ以外にも、教科書自体が分厚くなって、紙の質とかカラー刷りとか、1冊ずつがものすごく重くなってきています。そういう単純に教師がどうしようもない部分で重さが増しているとい

うところも結構あったりするんで、両方で、要らないものは持っていかないことも含めて、やっぱり考えていくことが必要かと。

○委員A ランドセルの重さもあるし、メーカー品でそういうのをしていったこともあるし、何せ、子供に負担がかかっていると。やっぱり体にかかわる、体重と荷物の比率を守らせるためには、持ってくるものを考えて、少なく指導してあげないとだめだと思う。確かに、教科書、端からずっといろんなところを見て勉強するのも大事かもしれないけど、疲れ切っていますもんね、教科書を運搬することに。やはり真剣にそれぞれの学校で、独自の問題をいろいろ考えてもらったほうがいいかなと思います。

○委員B ちょっといいですか。前々から中学校の副読本の多さにちょっとびっくりしているんですけど、各教科にあれだけ要るのかなと。教材費も結構な費用ですよ。実際どれだけ使っているのかというと、あんまり使っていなかったりするんですよ。ですから、副読本に対しても、一度ご検討いただきたいです。あと、今、こんなに大人が心配しているのに変なんですけど、子供自身が忘れ物をしたくないので、全部詰め込んで持っていつている子っているんですよ。毎日、同じカバンを持っていつてる。だから、その辺もちょっと指導しないといけないのかなと。全く入れかえずにそのまま持っていつて帰ってきている子も結構いるんですよ。ですから、その辺も、本人自身の健康のためだし、これだけ大人が心配しているのは、そういうことをしている子が現実に結構いると思いますので、そちらのほうも、指導しなきゃいけないのかなと思います。

○委員C 私の印象も、やっぱり副読本と辞書が非常に重いかんと思って。辞書なんかだったら、学校に置いてもいいのかなという。それで、うちの子供の学校でも「置き勉」が普通になっていて、辞書だとか副読本は、本人、個人用の棚があって、全部そこに入れているので。それでも多いですけどね、実際はね。でも、そういう工夫は絶対必要だから。あと、ノートに関していつても、ノートなんか、全部教科ごとに1冊ずつ持つ必要はなくて、例えばインデックスで入れて、必要な分だけ持っていく。必要のないところは、うちに置いておくと。小分けにできるので、そういう工夫をすれば、ノートだって十分1冊でやっていけると思うので。実際うちの子供もそれでやっていますからね。改善の余地はいっぱい、案を出せばどんどん出てくるんじゃないかと思うので、まずはいろいろ話し合って、よりよいものを。委員Bさんが言ったように、子供の意識もちょっと変えなきゃいけないところがあると思いますので。

○委員A もう1ついいですか。辞書についてなんですが、OBの方々から使わなくなった辞書はもらって、教室等に置いていくような形もありかなと思います。それと、個人が1個持っていかなきゃならないかといったら、要らないと思うんです。教室に何冊かあったらいいわけで、一斉に調べなければ。班なら班で、ク

ラスで誰かが調べて、それで答えをすればわかることで、引き方は1回、2回引いたらわかるので。

○委員D たぶん今は、教室の後ろに、市内どこも、朝読とあって、朝、読書する時間があって、そこにはフリーに読める本を置いているから、その横に多分辞書が何冊か置いてあると思います。今現状ね。

○委員A そうしたらもう、皆が皆持っていくことないので。辞書はすごく重いですからね。

○委員D 今の辞書も、さっきの副読本も「置き勉」の一番のターゲットですね。置いてあると。さすがにいつも持って帰ったり、持っていったり。

○委員C 重いですよ。

○委員D はい。特に学習辞典というやつは、活字が大きい分だけ分厚いので、それは今はもう、こういう話になる前から置いていますね。辞書とか副読本はね。

○教育長 そしたら、今、たくさんご意見をいただいて、家庭学習への影響であるとか、それからご意見をいただいて、家庭学習への影響であるとか、それから授業のあり方の中での副読本の使用ですとか、辞書の話も出ましたし、そのあたりまた、ご意見いただいたことを、課長会議か何かで、こんな意見をいただきましたという報告しておきましょうか。そういう形で、今のご意見を参考にして、また学校のほうで考えていただきたいと思います。ほか、よろしいですか。では、報告事項の1はこれで終わりたいと思います。

報告事項の2、高砂市立小中学校空調設備導入事業について、説明いただけますか。

議 事 報告事項2 高砂市立小中学校空調設備導入事業について

○事務局 (報告事項2について説明)

○教育長 よろしいでしょうか。進んでいるということで、お願いします。

報告事項の3、高砂市学校給食センター調理等業務委託業者の決定について、お願いいたします。

議 事 報告事項3 高砂市学校給食センター調理等業務委託業者の決定について

○事務局 (報告事項3について説明)

○教育長 説明が終わりました。何か質問はありますか。よろしいでしょうか。

では次、報告事項の4番、高砂市教育委員会事業後援承認一覧について、説明をお願いします。

議 事 報告事項4 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について

- 事務局 (報告事項4について説明)
- 教育長 説明いただきましたが、何かご質問はございますか。では、それぞれ承認ということでお願いします。
- その他、11月行事予定について、お願いします。

議 事 その他 11月行事予定について

- 事務局 (その他について説明)
- 教育長 各学校の行事、また、公民館等の行事がたくさんありますが、米印はついておりませんが、もし何かあるようでしたらのぞいていただけたらと思います。
- それから、きょうもまた遅い時間で申しわけないんですが、22日の定例の教育委員会も夜の19時30分からということで予定しておりますので、またご案内差し上げますけれども、またよろしくお願いします。ほか、何かありますか。
- 委員D トライやる・ウィークの視察は8日に入っているけれども、以前、トライやる・ウィークの視察をやめて、校長のどうのこうのという話が教育長さんからあったような気がしましたけれども、これはやっぱり私たちが入っての視察ということになりますか？
- 事務局 この視察につきましては、教育委員さんの視察については、トライのほうを、今年度については、部活のこの間の教育委員会ということでお願いしておりました。この8日の視察については、推進協議会の委員さんを対象にした視察ということで予定しております。
- 教育長 特に行きたいというご希望があれば、このときに一緒に行っていただいてもいいですか。
- 事務局 はい、それは可能です。
- 事務局 よろしく申し上げます。他何かありますか。なければこれで。ありがとうございました。

平成30年10月18日 午後8時31分 教育長会議の閉会を宣告
